

社会福祉法人室蘭言泉学園広報

初めの一步に

「元気」と「勇気」を…。

いずみ



写真：日中活動センター節分行事～鬼退治で無病息災！

社会福祉法人室蘭言泉学園の基本理念



- 人間の尊厳を支える組織として一人ひとりの人格を尊重し、その成長を支援します。
- 常に利用者本位の立場に立って、そのニーズに応えヒューマンサービスの質の向上に最善を尽くします。
- 地域社会の福祉の担い手として福祉課題を積極的に掘り起こし、それに取り組めます。
- 社会福祉法人として、多機能で選択肢があり継続的なサービスを提供できる経営を目指します。

春を待つ

理事長 菅野 登一郎

2021年度も新型コロナウイルス感染症予防対策に翻弄された1年になりました。

しかし、私たちの事業は迷い留まることなく工夫し新たな手法も取り入れながら事業の目標を遂行しようとした1年でもありました。

次年度は第4次中期事業計画の最終年度であります。そして、令和5年度以降に向けた新たな中期事業計画の策定にチャレンジする1年でもあります。

「アクションプラン2021」を受けて研修体制、販路拡充の強化推進にも取り組まなければなりません。

他方、昨年11月に国の「共生社会の実現」「各事業所の拠点的な事業所を統合化し法人組織機能の強化」「狭隘化した事業所の移転」の3つの観点を骨格に据え、コミュニティプラザ構想の実現に向けてスタートを切りました。計画の実現に向けて、より具体化な取り組みが必要になります。

事業方針

では法人各事業所にもお願いしたところですが「何のためにそれをやるのか」についてしっかりとした目標を定め周知実践し、計画・振り返り・評価に繋げることが大切としました。



このように、コロナ禍であっても新たな計画が目白押しです。次年度も目標の推進に追われる日常が利用者のQOL（生活の質）の向上に必ず貢献すると肝に命じて職員全員が力を合わせる所存であります。

どうぞ、法人事業の推進にご尽力を賜りますようお願い申し上げます。



言泉学園 重大 ニュース

厚生労働大臣表彰の受賞

本部事務局 事務局次長 池田 真人

令和3年度は新型コロナウイルス感染症の影響により、行事の中止や縮小化をしなければならず、法人全体的に自粛ムードの1年となりました。

そんな中、明るい話題もございました。当法人の理事長 菅野 登一郎さんが、今年度、厚生労働大臣表彰（社会福祉事業従事者等）を受賞されました。この表彰は、社会福祉事業の従事者として20年以上にわたり、その業務に精励した職員に贈られます。

また、菅野理事長は、過去に、室蘭市社会福祉協議会会長表彰、室蘭市長表彰、北海道社会福祉協議会会長表彰、全国社会福祉協議会会長表彰、北海道社会貢献賞を受賞されております。

当法人には現在の障害児入所施設に昭和48年6月に入職し、平成16年に室蘭言泉学園施設長、平成26年8月より共同生活援助事業所管理者に就任し、現在は理事長でもあります。

今後、当法人は、障がい者、児童、地域の人たち、職員が共に過ごせる地域共生社会の実現を目指す計画がありますが、その先頭に立って陣頭指揮をとってくださっています。

そんな菅野理事長率いる当法人、「チーム室蘭言泉学園」を今後とも皆様、応援をよろしくお願いいたします。



あけぼの年末お楽しみ会

活動支援施設あけぼの 吉田 瑞穂

コロナ禍のため昨年度に引き続き施設内で開催しました。わずか2か月程前に同じ場所で秋のお楽しみ会を行っていたため、いかにしてマンネリにならないようにするか、皆で試行錯誤して準備していきましました。

出し物としてゲームを2種類、ビンゴ大会、DVD上映を予定していましたが、チーム対抗戦による玉入れトーナメントが予想以上に白熱したことで時間が押してしまい、もう一つのゲームを行う時間が無くなってしまったという事態に（汗）皆さん盛り上がっていたので結果オーライということにしました（笑）

食事はコロナ禍ということで一人ずつお弁当。黙食でしたが、食事中はみなさんの顔写真を加工した映像を流し、雰囲気は楽しかったと思います。ビンゴ大会では景品を貰って一人ずつ記念撮影。最後のDVD上映では有志の職員の方々にマツケンサンバの仮装で盛り上げていただき年内最後の行事を明るく締めくくることができました。

色々と制約のある中での楽しみ会でしたが、無事に開催できて良かったです。次回は施設外で開催できるといいなと思います。



おもちゃのウイルス対策！

児童養護施設わかすぎ学園 高橋 亜由美

3月に入り、春の足音も聞こえてきている今日この頃。新型コロナウイルス感染拡大が続いており、日々感染対策に努めている所であります。

現在、当施設では幼児から高校生まで20人前後の入所児童が生活しておりますが、アトピー性皮膚炎の児童やハウスダスト・ダニなどに対しアレルギーを持っている児童も多く、空気清浄機の設置や高温スチームによる床洗浄などを日頃から実施し対応しております。しかし、洗浄不能な玩具等の消毒に関しては対応が難しいところでした。

そこで今回、国より補助金を頂き、新型コロナを始め各種感染予防対策としておもちゃ殺菌乾燥保管庫「クリアトイ」を購入いたしました。

玩具やぬいぐるみなどに付着した細菌やウイルスを、紫外線殺菌と遠赤外線熱風により殺菌・乾燥し、食中毒・ウイルス感染を予防することが出来ます。

主にわかすぎ学園と小規模養護施設・グループケアにて、入所児童の健康維持のために積極的に活用していく予定です。



新作ミラクルケーキ販売中！

日中活動センターげんせん 前野 栄美

母恋マンション1階で営業しております活動センター「カフェとて」では、「プレーン」（¥110）、生地にチョコを混ぜ込んだ濃厚な「チョコ」（¥110）、プレーン生地に数種類のドライフルーツを混ぜ込んだ「フルーツ」（¥120）と3種類のミラクルケーキを販売しています。この度、定番プレーン味に風味豊かなラム酒を使用して、しっとりした生地に仕上げた大人味のミラクルケーキの販売を始めます。金額は1個¥150の予定です。（こちらの商品は、洋酒を使用しておりますのでご注意ください。）

同時に、3月と4月限定となりますがストロベリー味のミラクルケーキその名も！！「ベリー・ベリーケーキ」を販売中です。

生地に、ストロベリーパウダー・ストロベリークランチ・クランベリーの实を入れた他のミラクルケーキとは違う歯ごたえの、春を感じる可愛い色合いのパウンドケーキです。1個¥150です。是非、ご賞味下さい。

今回は、ミラクルケーキの紹介でしたが新作おやきも考案中です。現在販売しているおやきは、あん・クリーム（¥110）いもあん・いもクリーム（¥150）の4種類です。



大満足のクリスマス会

児童養護施設わかすぎ学園 課長 磯山 恵美

今年のクリスマス会は、子ども自治会「みつばっち」が中心となり計画し、開催されました。自治会のリーダーが主に計画を立案し、ゲームなどの景品の購入、会場の飾りつけ等を職員と一緒に行いました。

クリスマス会は、幼児さんたちによる歌や、職員によるペープサート、また、子どもと職員による器楽演奏などの出し物と、食事はバイキング形式で調理さんが作ってくれた沢山の美味しいものを食べてお腹がいっぱいになった後、ビンゴ大会を行い、子どもたちも楽しんで参加し笑顔がたくさんとなりました。最後にはサンタクロースから手渡しでプレゼントを受け取り、目を輝かせながら大満足な一日を過ごしました。



新しい発見

小規模グループケア桜 主任 小山 可菜

女の子5名で始まった令和3年度。平均年齢も高くなり、高校生はアルバイトを開始し、今までとは生活サイクルも随分と変わりました。夕食も小中学生と大人だけのことも多く、



「なんだか静かで寂しいね」と、よく聞かれました。

支援方針である行事の準備はみんなでやること、食事・お弁当のおかず作りは無理のない範囲で継続して取り組んでいます。コロナ禍で行動制限も多く、外出行事も夏の一度きり。食事メインの行事や誕生日会が唯一の楽しみとなってしまったので、「お出掛けしたい!」という希望を来年度こそは叶えたいと思います。

もうすぐ進学・就職で桜を離れ、環境が変わる子もいます。この一年元気で過ごせたことに感謝し、それぞれの楽しい時間が増えていくとこに期待をして新たな春を迎えたいと思います。

楽しく思い出に残る活動を

地域小規模児童養護施設楓 竹内 夕貴

楓ではコロナ禍で色々と我慢を強いられた昨年度とは違い、感染防止対策を配慮しながらもアクティブな行事を行う事が出来ました。アスレチックで遊んだり、公園を散策したり…小中学生は体力発散の場となり、職員と部活をしていない高校生の子どもは日々の運動不足を感じながらも、皆で我慢した分の喜びと、行事の楽しさを改めてかみしめる事が出来ました。

また、マスクの着用、手洗いうがい、消毒等感染予防を徹底しているおかげもあり、子ども達全員が病気に罹る事なく元気に生活する事が出来ました。

まだまだ情勢的にもコロナ禍前のように気軽に外出等は出来ませんが、制限下の中でも楽しく思い出に残る活動を今後も子ども達と一緒に考えていきたいと思っています。



おいしい食事で楽しい行事を

言泉学園・わかすぎ学園 調理室 副主任 成田 大

調理では、言泉学園とわかすぎ学園の子ども達に食事を提供しています。調理職員で知恵を出し合い、食から子ども達の笑顔を引き出せるよう努めています。味やバランスはもちろん、家庭的な雰囲気も大切にしています。

今年度は昨年同様に新型コロナウイルスの影響で多くの行事が中止や縮小になりました。



コロナの完全な終息まで、まだ我慢することは多くありますが、クリスマス会やもちつき会等、工夫して実施した行事もあります。楽しい行事に欠かさないのはやっぱり美味しい食事です。何が食べたいか事前にアンケートを取り、希望が多い料理を提供しました。

食事から元気にできたらという思いで、これからも子ども達の健やかな成長を見守り続けたいと思います。

勉強や就職活動に奮闘!

苫小牧養育センター鈴蘭 副主任 横山 佳世子

今年度の鈴蘭は、勉強に就職活動にとそれぞれ頑張った1年だったと思います。ここ数年、毎年誰かが受験生だという状況が続き、いよいよ自分達の順番だと緊張、不安、その先への期待などで胸がいっぱいだったと思います。受験とは関係ない児童も定期試験に備えて学習したり、就労に向けて現場実習を一生懸命に取り組んだりそれぞれ頑張っていました。

また、感染症がまだまだ流行しているので行事は少なくなり、今年度は夏休みの樽前山の登山とクリスマス会、各児童の誕生会となりました。一人一人が手洗いうがいを意識しているので、今の所は全員健康に過ごすことが出来ており安心してはいますが、来年度は様子を見ながら行事を実施していければと思っています。



元気いっぱいの子ども達

苫小牧養育センターはまなす センター長 袴田 克幸

今年度は、コロナ禍の影響もあり、インドア的な遊びが多くなりましたが、はまなすでは、庭の石に縄跳びをひっかけ、よじ登ったり、蔓延防止期間の合間をみて、公園やスケートに遊びに行ったりと、季節の移り変わりを感じられるようなことも行いました。



ここ一年の子どもの変化として、食事の量が増え、身体の成長が見受けられました。

また、学校で頑張っている、自分のやってみたいことが言えるなど、時にはトラブルもありましたが、心の成長が見受けられました。

職員は子どもたちのツボ探し。子どもたちも職員のツボ探し。同じことが言えるかもしれません。互いにどんな言葉が響くのか、模索し、寄り添い合った一年となりました。

安心安全に生活できる場を

陣がい児入所施設室蘭言泉学園 田中 晴菜

室蘭言泉学園の恒例行事である50kmあるくかいは、緊急事態宣言で実施を断念することとなり、行事の代替案として10月16日(土)に、壮瞥の近藤果樹園さんのご協力のもと、果樹園内を貸し切ったのぶどう狩りを行ないました。

昼食はカニめしや豚丼と言ったご当地弁当を堪能し、様々な種類のぶどうに加えてブルーベリーも頂くことができました。

帰園後は芸術の秋にちなんで映画鑑賞を行ない、夕食は言泉学園の駐車場にキッチンカーを招き、最後は映画のチケットを利用したお楽しみ抽選会を行ない、子どもも大人も笑顔で賑やかな時間を過ごしました。



にこっとパン、頑張っています!

活動支援施設あけぼの 金澤 範子

あけぼのでは利用者が所属先に愛着を持ち、親しんでもらえるよう『なないろ』『ひまわり』『はばたき』と愛称を付けています。

「パン」グループは仲間同士そしてパンを買ってくださるお客様に対して、いつも笑顔でいられるように『にこっとパン』と名付けました。

今はコロナ禍で市内外のあちらこちらから当面パン販売を控えてほしいと言われ悲しい気持ちになっていますが、そんな中でも私たちのお店「ベーカリーあけぼの」には、常連のお客様が少なからずおり、「ここのパン美味しいよ」という言葉に元気づけられています。

これからもお客様が私たちのパンを食べて「にこっと」してくれる笑顔を励みに頑張っていきます。



限られた環境でも創意工夫を

花ファクトリーあけぼの 所長 穴戸 邦隆

今年度もコロナ対策を行いながらの事業所運営となり、活動の一部変更や自粛がありました。行事は事業所内での実施になりましたが、『限られた環境の中で、皆さんに楽しんで頂くために何が出来るか』職員の創意工夫に繋がったと思います。

また、花卉栽培や受託作業(草刈りや公園清掃等)は、コロナの影響も少なく、ほぼ例年通り行うことができたことで、皆さんへ安定した工賃を支給することができたことは良かったと思います。



より多くの工賃を

就労継続支援B型事業所湘南しいたけ 所長 藤澤 憲将

湘南しいたけの役割としては、企業での就労は難しいけれど、職員の支援を受けながら働きたいという方のための、就労継続支援B型事業です。

そのため、利用される方へより多くの工賃をお支払いすることを第一の目標として取り組んでいくことになります。



湘南しいたけの名前のとおり主にしいたけを栽培・加工をして販売しています。幸いにコロナの影響で極端に売り上げが下がるようなことはありませんでしたが、まだまだ結果が伴わないのが現状です。

引き続き工賃の向上と利用者の作業環境の向上を行い、次年度は何とか結果を残せるように皆で頑張っていきます。

事業所活動

つづき

アグレッシブに、そしてその先へ。

共同生活援助事業所「げんせん」主任 菊地 真利

グループホームではコロナ禍ということもあり、なかなか例年のような行事をおこなうことができていません。しかし、ピンチはチャンスという発想で今までのルーティンの余暇活動から少し離れて、発想を変えた余暇活動の取り組みを考えるようになりました。

とあるホームでは、洞爺湖を徒歩で半周するチームと、自転車一周するチーム、車で数周するチームで分かれて、自然を感じながら体を動かしました。

余暇の活動に限界はなく、利用者の生活の質を極限にまで高められるように、日々利用者からの意見をヒントに、余暇活動内容を奇抜的に創造して提供していければと日々考えています。



制限の中でも楽しい行事を

日中活動センターげんせん 前野 栄美

日中活動センターげんせんは、すすらん・ラベンダー・はまなすの3つのエリアに分かれた生活介護と、外作業・屋内作業・買い物・配送・食工房ふぁーすとなどを行う就労継続支援B型に分かれています。

それぞれ忙しい中でも、合同で行事が出来るのは年末お楽しみ会行事です。年にたった一度しかないのに、ここ2年程は、コロナの影響により色々な制限や先の見えない我慢をしています。

「年末お楽しみと言えば・・・カラオケ！！景品が買えるゲーム！」などの声もチラホラ・・・。

「あの時は、マスクして写真撮ったよね。懐かしい～」と笑って話せる日が早くきてほしいです。



本部事務局の朝礼風景

本部事務局 主任 篠原 拓

本部事務局には聴覚に障がいのある職員が2名在籍しております。既に朝礼で手話の学習をするようになってから8年ほど続けております。

手話の学習を開始した当初は「今日は実用的に使える手話がいいかな？」などと考えておりましたが、次第に手話での挨拶や自分の名前や年齢などを覚えていき、今では手話には様々な表現や方言があることも学びました。

手話は普段から使用していないと忘れてしまいますので、間違っていることもチャレンジし、正しい手話を教えてもらい、また、忘れる、間違えるということを繰り返しながら徐々に手話を学習しています。



相談支援室から

室蘭市障がい者総合相談支援室「げんせん」

室長 天野 豊平

当室は5名の相談員にて主に室蘭市内にお住まいの方からの御相談を承っており、本年度はおおよそ500名の方からご相談を頂きました。

就労や居所（施設やグループホーム）について等、その内容は多岐にわたり、人それぞれです。市内関係機関の皆さんと協働し、引き続きの支援展開を行いたいところです。

他、今年度は昨年度実施出来なかった「障がい者理解促進事業」研修会を開催することが出来ました。今年は「障がい者の雇用促進」をテーマに開催しましたが、次年度も引き続きご協力・ご参加等いただけますとありがたいです。よろしくお願い申し上げます。



湘南しいたけのご用命は (0142-82-4065)





日中活動センターのご用命は ☎ (0143-23-0520) 📞

ご厚志に感謝！

寄附者一覧

(令和3年3月～令和4年2月)

《団体》

(敬省略)

(株)AirDrive、EBEZZA、JA北海道中央会、
(株)Wads、(有)アクト警備オフィス、イオン北海道(株)、ウィメンズネット・マサカーネ、(株)カーブスイオン登別、菓子工房モンパリー、共栄工業(株)、港南福音教会、
サンタの会、松緑神道大和山、生活協同組合コープさっぽろ、(株)セブンイレブンジャパン、全国シャンメリー協会、全道ホクレンSS、大安寺、チビッコ未来文庫、天照教、苫小牧マーガレット幼稚園、日本鏡餅組合、(公)日本漢字能力検定協会、日本出版販売(株)、(一財)日本児童養護施設財団、
(有)信田印刷、パーラービクトリア室蘭店、(有)花のながはら、広尾町サンタランド係、フードバンクいぶり、フードバンクゆめみへる、(株)ファーストリテイリングサステナビリティ部、藤川建設(株)、
(株)フレーベル館メディア事業部、(株)ホクビー、母恋南町町会、母恋マンション管理組合、星野太郎バッグデザイン研究(株)、北海道コカ・コーラボトリング室蘭登別販売課、ほっともっと、(公財)毎日新聞東京社会事業団、(株)マウスコンピューター、末日聖徒イエスキリスト教会、マルハン室蘭店、室蘭市社会福祉協議会、室蘭商工会議所、
(株)むろん東郷、室蘭友の会、(株)室蘭製麺、室蘭八幡宮、室蘭東ライオンズクラブ、吉本興業株式会社、蘭北山本光寺

《個人》

(敬省略)

荒木正和、石川英仁、市川諭、大崎悟、栗林呂名、黒光ひさ、今裕治、佐藤弘明、芝垣晶子、須藤克志、高橋香織、高山脩、二子学、西谷沙菜、八田信一、花岡祥子、福田稔、堀内道子、松崎淳、松島美夏、門司一徹、八木橋紀子、山縣次朗、山下真優美、吉田一夫

令和4年度
社会福祉法人室蘭言泉学園カレンダー

○辞令交付式



4月

○春季行楽行事
○定時評議員会

6月

○夏季行楽行事
○日活まつり(日活)

8月

○ハロウィーン行事
○各種中間報告

10月

○クリスマス会
○忘年・もちつき会

12月

○節分行事
○冬季行楽行事

2月

○法人事業貢献表彰式



5月

○サマーキャンプ



7月

○50kmあるくかい？



9月

○永年勤続表彰式



11月

○成人式



1月

○退園式



3月

広報いずみ

2022年3月25日発行

発行人 社会福祉法人 室蘭言泉学園
住所 〒051-0004
室蘭市母恋北町1丁目4番2号
電話・FAX 0143-50-6720
HP <http://www5.plala.or.jp/gensen>

今年度もコロナ感染対策に苦勞することとなりました。夏は管内の感染者数も落ち着き、各事業所で行事を開催できましたが、冬には法人初の陽性者、2月にはクラスターが発生しました。幸いにも児童の頑張りや現場職員の対応、皆さまの支援によって早期に収束し現在は通常通りの生活に戻っております。

今年度は言泉学園・わかすぎ学園・桜・鈴蘭から合計8名の子ども達が卒園します。4月には成人年齢が18歳となります。新生活に新成人、大きな転機ですが、それぞれのパワーで楽しく過ごしてほしいです。(た)

編集後記